

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載

【部門区分】第 3 部門第 2 区分

【発行日】平成23年12月8日(2011.12.8)

【公表番号】特表2011-500842(P2011-500842A)

【公表日】平成23年1月6日(2011.1.6)

【年通号数】公開・登録公報2011-001

【出願番号】特願2010-531272(P2010-531272)

【国際特許分類】

A 6 1 K	38/00	(2006.01)
A 6 1 K	45/00	(2006.01)
A 6 1 P	35/00	(2006.01)
A 6 1 P	3/10	(2006.01)
A 6 1 P	27/02	(2006.01)
A 6 1 P	1/04	(2006.01)
A 6 1 P	19/02	(2006.01)
A 6 1 P	29/00	(2006.01)
A 6 1 P	11/06	(2006.01)
A 6 1 P	7/10	(2006.01)
A 6 1 P	11/00	(2006.01)
A 6 1 P	17/06	(2006.01)
A 6 1 P	37/06	(2006.01)
A 6 1 P	27/06	(2006.01)
A 6 1 P	9/00	(2006.01)
A 6 1 P	7/02	(2006.01)
A 6 1 P	17/02	(2006.01)
A 6 1 P	7/04	(2006.01)
A 6 1 P	25/14	(2006.01)
A 6 1 P	21/04	(2006.01)
A 6 1 P	37/02	(2006.01)
A 6 1 P	13/12	(2006.01)
A 6 1 P	1/16	(2006.01)
A 6 1 P	21/02	(2006.01)
A 6 1 P	9/06	(2006.01)
A 6 1 P	7/06	(2006.01)
A 6 1 P	35/02	(2006.01)
A 6 1 K	47/48	(2006.01)
C 0 7 K	19/00	(2006.01)

【F I】

A 6 1 K	37/02	
A 6 1 K	45/00	
A 6 1 P	35/00	
A 6 1 P	3/10	
A 6 1 P	27/02	
A 6 1 P	1/04	
A 6 1 P	19/02	
A 6 1 P	29/00	1 0 1
A 6 1 P	11/06	
A 6 1 P	7/10	
A 6 1 P	11/00	

A 6 1 P 17/06  
 A 6 1 P 37/06  
 A 6 1 P 27/06  
 A 6 1 P 9/00  
 A 6 1 P 7/02  
 A 6 1 P 17/02  
 A 6 1 P 7/04  
 A 6 1 P 25/14  
 A 6 1 P 21/04  
 A 6 1 P 37/02  
 A 6 1 P 13/12  
 A 6 1 P 1/16  
 A 6 1 P 21/02  
 A 6 1 P 9/06  
 A 6 1 P 7/06  
 A 6 1 P 35/02  
 A 6 1 K 47/48  
 C 0 7 K 19/00      Z N A

【手続補正書】

【提出日】平成23年10月17日(2011.10.17)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

P E G 化複合体であって、

a) c A M P 依存性タンパク質キナーゼの調節サブユニット由来の D D D (二量体化 / ドッキングドメイン) 配列に付着した治療薬 ; および

b) A キナーゼアンカリングタンパク質 ( A K A P ) 由来の A D (アンカードメイン) 配列に付着した P E G 部分を含み、

2 つの D D D 配列が 1 つの A D 配列に結合して P E G 化複合体を形成し、前記 D D D 配列と A D 配列の間のジスルフィド結合をさらに含む、P E G 化複合体。

【請求項 2】

前記 D D D 配列が配列番号 2 を含む、請求項 1 に 記載の複合体。

【請求項 3】

前記 P E G 部分が、一方の端でメトキシ基によりキャッピングされている、請求項 1 に 記載の複合体。

【請求項 4】

前記 治療薬 が、酵素、サイトカイン、ケモカイン、成長因子、ペプチド、抗体、および抗体断片からなる群より選択される、請求項 1 に 記載の複合体。

【請求項 5】

前記 治療薬 が、インターフェロン - 、インターフェロン - 、インターフェロン - 、M I F、H M G B - I (高移動度グルーブボックスタンパク質 1)、T N F - 、I L - I、I L - 2、I L - 3、I L - 4、I L - 5、I L - 6、I L - 7、I L - 8、I L - 9、I L - 10、I L - 11、I L - 12、I L - 13、I L - 15、I L - 16、I L - 17、I L - 18、I L - 19、I L - 23、I L - 24、C C L 19、C C L 21、M C P - 1、R A N T E S、M I P - I A、M I P - I B、E N A - 78、M C P - I

、I P - 1 0、G r o - 、エオタキシン、G - C S F、G M - C S F、S C F、P D G F、M S F、F l t - 3リガンド、エリスロポエチン、トロンボポエチン、h G H、C N T F、レプチン、オンコスタチンM、V E G F、E G F、F G F、P l G F、インスリン、h G H、カルシトニン、第V I I I因子、I G F、ソマトスタチン、組織プラスミノゲンアクチベーター、およびL I Fからなる群より選択される、請求項4に記載の複合体。

【請求項6】

A D配列に付着した前記P E G部分が、I M P 3 5 0、I M P 3 6 0、I M P 3 6 2、I M P 4 1 3、またはI M P 4 5 7を含む、請求項1に記載の複合体。

【請求項7】

前記治療薬が、インターフェロン(I F N) - 2 b、G - C S F、またはエリスロポエチンである、請求項1に記載の複合体。

【請求項8】

D D D配列に付着した前記治療薬が、融合タンパク質である、請求項1に記載の複合体

。

【請求項9】

前記P E G化複合体の血清からのクリアランス速度が、P E G化されていない治療薬のクリアランス速度よりも少なくとも1桁遅い、請求項1に記載の複合体。

【請求項10】

P E G化複合体であって、

a) c A M P依存性タンパク質キナーゼの調節サブユニット由来のA D配列に付着した治療薬；および

b) Aキナーゼアンカリングタンパク質(A K A P)由来のD D D配列に付着したP E G部分を含み、

2つのD D D配列が1つのA D配列に結合してP E G化複合体を形成する、P E G化複合体。

【請求項11】

前記P E G化複合体の血清からのクリアランス速度が、P E G化されていない治療薬のクリアランス速度よりも少なくとも1桁遅い、請求項10に記載の方法。

【請求項12】

治療薬をP E G化する方法であって、

a) 治療薬をc A M P依存性タンパク質キナーゼの調節サブユニット由来のD D D配列に付着させる工程；

b) P E G部分をAキナーゼアンカリングタンパク質(A K A P)由来のA D配列に付着させる工程；ならびに、

c) 前記D D D配列を前記A D配列に結合させて、2つの治療薬 - D D D配列および1つのP E G - A D配列を含むP E G化複合体を形成させる工程を含む方法。

【請求項13】

前記治療薬が、酵素、サイトカイン、ケモカイン、成長因子、ペプチド、抗体、および抗体断片からなる群より選択される、請求項12に記載の方法。

【請求項14】

前記P E G化複合体の血清からのクリアランス速度が、P E G化されていない治療薬のクリアランス速度よりも少なくとも1桁遅い、請求項12に記載の方法。

【請求項15】

治療薬をP E G化する方法であって、

a) 治療薬をAキナーゼアンカリングタンパク質(A K A P)由来のA D配列に付着させる工程；

b) P E G部分をc A M P依存性タンパク質キナーゼの調節サブユニット由来のD D D配列に付着させる工程；ならびに

c) 前記 D D D 配列を前記 A D 配列に結合させて、2つの治療薬 - D D D 配列および1つの P E G - A D 配列を含む P E G 化複合体を形成させる工程を含む方法。